

福祉・ボランティア出前講座申込書／貸出用具予約書

※事前に電話連絡のうえ、FAX送付願います。
FAX 5698-2513

記入例

学校名		〇〇 小学校	受付	年 月 日	受付者
校長名		● 山 ● 子	電話	03-5698-25xx	
住所		葛飾区 堀切3-34-1	FAX	03-5698-26xx	
担当者	名前	▲ ▲ ▲男	(担当者で連絡が取れる時間帯) 午前8時30分頃 午後3時～6時		
	役職等	校長・副校長・主幹・ 教諭 ・保護者 その他 ()	電話	() ※上記以外、保護者等個人あての場合に記入ください。	
講座の内容	日時	6月26日(金)	時間帯	9時35分～10時20分(2校時) 10時40分～11時25分(3校時)	
	対象(受講者)	学年 4年生 61人(2クラス)	内訳	1組 2組 組 組	
	会場	体育館 (体育館・会議室等、決まっていればご記入ください)			
	講座の目的	<p>(学習のねらいなど) (国語など教科の単元・総合の時間など)</p> <p>本校では、人権教育実践校の指定を受け、福祉教育に取り組んでいる。中学年は「高齢者・障害者」をテーマに据え学習を進めており、今回の車いす体験により、車いす使用者に対する正しい理解を深める。さらに今回の体験をもとに施設訪問など実践に取り組み(授業計画表などがあれば、別紙添付してください)</p>			
	内容	<p>【事前学習】 (調べ学習・視聴覚教材など)</p> <p>国語や社会科で「障害」や「バリアフリー」は学習している。そして、総合的な学習の時間に、児童それぞれが、「障害」をテーマに調べ発表しあった。その中で、車いすの種類等(パラリンピックのスポーツ用車いす等)は出てきたが、体験活動は初めてである。</p> <p>【本講座】 ※特別な配慮を必要とする児童・生徒がいましたら、併せてお書きください。</p> <p>○体育館にて、簡単なコースを作成し、それを車いすで移動する。</p> <p>①マットやコーナーポストを活用し、町中の段差や障害物などを再現しておく。</p> <p>②車いすについて講師より、指導を受ける。(乗り方、押し方、注意点など)</p> <p>※外国籍児が4年生2組に5名いる。</p> <p>【事後学習】 (感想文を書く・学習発表会など)</p> <p>感想シートに記入し、交流、まとめる。</p>			
貸出用具	(点字板、車椅子、シニアセット、アイマスク等を記入)	車いす 6台	期間	貸出日～返却日を記入(講座当日をはきんで貸出可能です) 6月21日～6月27日	
その他	車いす体験は初めてなので、体育館の使い方など学校での相談を希望します。				

福祉・ボランティア出前講座申込書／貸出用具予約書

※事前に電話連絡のうえ、FAX送付願います。
FAX 5698-2513

記入例

団体名		〇〇 町会	受付	年 月 日	受付者
代表者名		● 山 ● 夫	電話	03-5698-25xx	
住所		葛飾区 堀切3-34-1	FAX	03-5698-26xx	
担当者	名前	▲ ▲ ▲子	(担当者で連絡が取れる時間帯) 午後3時～6時		
	役職等	町会長・ 役員 ・職員・保護者 その他 ()	電話	() ※上記以外、担当者等個人あての場合に記入ください。	
講座の内容	日時	6月15日(月) 時間帯	午前10時 分 ~ 12時 分		
	対象(受講者)	主な年齢層 ・子ども ・成人 高齢者	具体的な内訳 高齢者 6人 人 人 合計 6人		
	会場	〇〇 町会 会館1階会議室 及び 隣接公園 (体育館・会議室等、決まっていればご記入ください)			
	講座の目的	(体験等を行うねらいなど) 町内の引きこもりがちな高齢者を、交流会などに誘いたい。そのため、 車椅子介助の方法など、活動の基本を覚えたい。			
内容	【事前準備】 高齢者クラブを中心に、介助ができる人を募るチラシを配る。 町内掲示板に講座の実施ポスターを貼る。				
	【本講座】 ボランティア活動や見守り活動について、基本の話を聞く。 車椅子の介助体験をする。 (乗り方、押し方、公園など屋外での注意点など)				
貸出用具	(点字板、車椅子、シニアセット、アイマスク等を記入)	車いす 3台	期間	貸出日～返却日を記入(講座当日をはさんで貸出可能です) 6月 11日 ~ 6月 17日	
その他	隣接の公園で、屋外での体験も実施したい。				